



2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年7月18日

上場会社名 株式会社ブロンコビリー 上場取引所 東 名
コード番号 3091 URL <https://www.bronco.co.jp/corporate/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹市 克弘
問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 コーポレート本部長 (氏名) 阪口 信貴 TEL 052-856-4129
半期報告書提出予定日 2024年7月25日 配当支払開始予定日 2024年9月2日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年1月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	12,684	11.4	1,221	114.3	1,248	109.1	823	146.6
2023年12月期中間期	11,382	—	569	—	597	—	334	—

(注) 包括利益 2024年12月期中間期 839百万円 (147.2%) 2023年12月期中間期 339百万円 (—%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期中間期	55.41	55.28
2023年12月期中間期	22.48	22.43

当社は、2023年12月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2023年12月期第2四半期（中間期）の対前年中間期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期中間期	23,909	19,363	80.7
2023年12月期	22,761	18,646	81.5

(参考) 自己資本 2024年12月期中間期 19,286百万円 2023年12月期 18,561百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	8.00	—	10.00	18.00
2024年12月期	—	12.00	—	—	—
2024年12月期（予想）	—	—	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,400	12.9	2,270	38.0	2,320	35.8	1,470	46.5	98.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：有
新規 1 社 (社名) 株式会社レ・ヴァン、除外 1 社 (社名)
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年12月期中間期	15,079,000 株	2023年12月期	15,079,000 株
② 期末自己株式数	2024年12月期中間期	203,558 株	2023年12月期	213,886 株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2024年12月期中間期	14,869,540 株	2023年12月期中間期	14,860,158 株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	
中間連結会計期間	6
中間連結包括利益計算書	
中間連結会計期間	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(重要な後発事象)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当社グループは、「食を通じて人を幸せにしたい」という想いを込めて、「ご馳走カンパニー」の実現という長期ビジョンを掲げ、持続的な付加価値創造と企業価値向上に取り組んでおります。

当中間連結会計期間(自2024年1月1日至2024年6月30日)におきましては、ウクライナ情勢長期化による資源や原料供給網の弱体化、為替相場の円安などで、原材料をはじめとした各種コスト上昇の中、収益性の改善においては厳しい状況にあります。外食業界におきましても、アフターコロナにおいて客数が順調に回復する中でも、食材価格や労働力不足による人件費上昇など、厳しい状況は依然として続いております。

こうした状況下、当社におきましては原料の調達幅を広げ、数量限定での高品質なお買い得ステーキの投入を加速させ、引き続き高付加価値商品の魅力を提供することでディナー集客の改善に努めてまいりました。そして、お客様へ提供する商品サービスの品質維持にもっとも重要な主力のパート・アルバイトの雇用維持に努めることで、客数の回復にも状態を維持しながら営業ができております。そして、子会社の株式会社松屋栄食品本舗で製造を本格稼働した店舗向けソース・ドレッシングなど、ご家庭でもブロンコビリーを味わえるように、ソース・ドレッシングのブロンコビリー全店店頭販売に加え、中部地区の一部量販店でも販売開始いたしました。今後、松屋栄食品本舗で拡張された当社向けの製造ラインでさらなる商品品質向上と店舗数増加に対応できるようにグループとしての生産体制を整えております。

さらに、愛知県下で「とんかつ かつ雅」等のとんかつ専門店を11店舗展開しております株式会社レ・ヴァンを4月に子会社化したことにより、地元に着目したブランド力と実績は、当社の「とんかつ業態」の愛知県下での営業基盤を確固たるものにできるとともに、レ・ヴァンにおいても当社グループの自社工場や松屋栄食品本舗の食材調達力・工場加工力を活用することで収益力の向上につながります。シナジー効果を発揮し「とんかつ業態」の成長基盤を固め、当社グループ一層の成長を目指してまいります。

そして店舗面では関東・関西・東海・九州各地区の既存店の強化に取り組むとともに、大阪府に1店舗(河内長野店)を開店しました。その結果、「ブロンコビリー」136店舗、「とんかつ かつひろ」3店舗、「とんかつ かつ雅」9店舗、その他2店舗の合計150店舗となっております(2024年6月末日現在)。

以上の結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高は126億84百万円(前年同期比11.4%増)、営業利益は12億21百万円(前年同期比114.3%増)、経常利益は12億48百万円(前年同期比109.1%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は8億23百万円(前年同期比146.6%増)となりました。

なお、当社グループは飲食事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末の資産合計は239億9百万円(前連結会計年度末227億61百万円)となり、11億48百万円増加いたしました。その主な要因は、投資その他の資産の長期預金が10億円、新規出店等により有形固定資産が3億66百万円増加し、流動資産の現金及び預金が6億36百万円減少したことなどによるものであります。

(負債)

一方、負債合計は45億45百万円(前連結会計年度末41億14百万円)となり、4億31百万円増加いたしました。その主な要因は、未払金が5億円増加し、流動負債の「その他」が1億64百万円減少したことなどによるものであります。

(純資産)

純資産合計は193億63百万円(前連結会計年度末186億46百万円)となり、7億17百万円増加し、自己資本比率は80.7%(前連結会計年度末81.5%)となりました。その主な要因は、親会社株主に帰属する中間純利益の計上による増加と配当金の支払い等により利益剰余金が6億75百万円増加したことなどによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、69億53百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は12億9百万円となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益を12億47百万円計上及び減価償却費が4億15百万円、法人税等の支払額が3億77百万円あったこと等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は5億95百万円となりました。これは主に、定期預金の預入による支出が10億円、有形固定資産の取得による支出が3億15百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出が1億99百万円及び定期預金の払戻による収入が9億73百万円あったこと等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は2億85百万円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出が1億20百万円及び配当金の支払額が1億46百万円あったこと等によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、当中間連結会計期間の実績値等を踏まえて修正いたします。詳細につきましては、本日公表の「第2四半期（中間期）業績予想と実績の差異及び通期業績予想並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,649,594	7,013,334
売掛金	931,175	942,486
商品及び製品	187,530	139,906
原材料及び貯蔵品	654,014	953,350
前払費用	217,999	315,036
その他	67,279	34,142
流動資産合計	9,707,592	9,398,258
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,756,643	6,858,826
機械装置及び運搬具(純額)	152,803	139,718
工具、器具及び備品(純額)	573,836	557,264
土地	2,724,457	2,862,449
その他	16,512	172,622
有形固定資産合計	10,224,253	10,590,882
無形固定資産	245,296	275,931
投資その他の資産		
投資有価証券	145,603	170,292
長期預金	1,000,000	2,000,000
差入保証金	1,074,507	1,113,398
その他	364,106	360,867
投資その他の資産合計	2,584,216	3,644,558
固定資産合計	13,053,766	14,511,372
資産合計	22,761,359	23,909,630
負債の部		
流動負債		
買掛金	886,466	883,274
短期借入金	58,360	55,000
1年内返済予定の長期借入金	120,000	38,076
リース債務	21,718	29,251
未払金	1,050,845	1,551,068
未払法人税等	457,757	469,435
契約負債	123,846	171,056
賞与引当金	55,010	78,270
販売促進引当金	96,033	100,319
その他	576,548	412,344
流動負債合計	3,446,587	3,788,097
固定負債		
長期借入金	-	44,434
リース債務	245,817	255,041
資産除去債務	409,760	445,370
その他	12,564	12,860
固定負債合計	668,142	757,706
負債合計	4,114,729	4,545,804

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,210,667	2,210,667
資本剰余金	2,122,380	2,132,606
利益剰余金	14,683,031	15,358,281
自己株式	△487,009	△463,503
株主資本合計	18,529,069	19,238,051
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32,726	48,742
その他の包括利益累計額合計	32,726	48,742
新株予約権	84,834	77,032
純資産合計	18,646,629	19,363,825
負債純資産合計	22,761,359	23,909,630

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)
(中間連結会計期間)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
売上高	11,382,263	12,684,653
売上原価	4,029,329	4,172,480
売上総利益	7,352,934	8,512,173
販売費及び一般管理費	6,783,196	7,290,968
営業利益	569,738	1,221,205
営業外収益		
受取利息	2,322	2,269
受取配当金	1,556	2,018
受取賃貸料	20,045	16,606
協賛金収入	12,403	17,279
その他	8,205	5,853
営業外収益合計	44,532	44,028
営業外費用		
支払利息	438	163
賃貸費用	11,870	11,524
その他	4,825	4,893
営業外費用合計	17,134	16,580
経常利益	597,136	1,248,652
特別損失		
固定資産除売却損	1,944	1,248
減損損失	26,814	-
その他	3,138	-
特別損失合計	31,896	1,248
税金等調整前中間純利益	565,239	1,247,403
法人税、住民税及び事業税	239,262	397,313
法人税等調整額	△8,119	26,189
法人税等合計	231,143	423,503
中間純利益	334,096	823,900
親会社株主に帰属する中間純利益	334,096	823,900

(中間連結包括利益計算書)
 (中間連結会計期間)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
中間純利益	334,096	823,900
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,689	16,016
その他の包括利益合計	5,689	16,016
中間包括利益	339,786	839,916
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	339,786	839,916
非支配株主に係る中間包括利益	-	-

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	565,239	1,247,403
減価償却費	420,978	415,991
減損損失	26,814	-
のれん償却額	2,727	2,727
賞与引当金の増減額(△は減少)	6,226	13,659
販売促進引当金の増減額(△は減少)	1,863	4,285
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△16	△1
受取利息及び受取配当金	△3,878	△4,288
支払利息	438	163
固定資産除売却損益(△は益)	1,944	1,248
売上債権の増減額(△は増加)	112,501	34,048
棚卸資産の増減額(△は増加)	241,489	△239,831
前払費用の増減額(△は増加)	△53,501	△88,487
仕入債務の増減額(△は減少)	△207,016	△52,771
未払金の増減額(△は減少)	273,298	359,085
契約負債の増減額(△は減少)	24,371	26,279
その他	△61,654	△136,014
小計	1,351,826	1,583,498
利息及び配当金の受取額	3,878	4,288
利息の支払額	△438	△163
法人税等の支払額	△78,900	△377,926
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,276,366	1,209,697
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△885	△961
有形固定資産の取得による支出	△636,956	△315,952
無形固定資産の取得による支出	△4,505	△59,383
差入保証金の差入による支出	△22,740	△9,600
差入保証金の回収による収入	-	10,342
建設協力金の回収による収入	11,645	6,758
定期預金の預入による支出	-	△1,000,000
定期預金の払戻による収入	-	973,536
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△199,170
その他	128	△596
投資活動によるキャッシュ・フロー	△653,313	△595,026
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△174,000	△120,000
短期借入金の純増減額(△は減少)	△18,336	△3,360
リース債務の返済による支出	△10,798	△15,590
自己株式の取得による支出	△80	-
配当金の支払額	△119,063	△146,151
その他	-	3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△322,278	△285,099
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	300,774	329,571
現金及び現金同等物の期首残高	5,657,513	6,623,588
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	134,804	-
現金及び現金同等物の中間期末残高	6,093,093	6,953,159

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。